

# 栽培のしおり

## 【ミツバ(せり科)】

香が高い葉茎と歯ざわりのよさが人気で、和食では多用されている日本産の野菜。

多年草だが、霜にあたると地上部が枯れ、夏の暑さでは不良になりやすいため、冬や夏は保温や遮光が必要になる。春と秋が育てやすい。

### 栽培時期

### 栽培のポイント

#### 品種

#### 土壤酸性度

#### 連作障害

有り(1~2年)

元肥(1米当たり)

#### 種蒔

- 1) 列間15cm、深さ5cmのまき溝を、板切れなどを利用してつくる。
- 2) できるだけ重ならないように筋蒔きする。
- 3) 好光性なので、土は薄くかける。
- 4) 根ミツバの根株を再生させて、収穫することもできる。

#### 発芽日数

#### 間引き

- 1) 発芽したら込み合う部分から順次間引き、株間3cmで育てる。

#### 追肥

#### 収穫

- 1) 草丈20~25cmに生長したら、根元から切り取って収穫。
- 2~3cm残しておくと、再生して長く楽しめる。

### 栽培実績

品種(白茎みつば)

土作り(F-4区画)

10/06/04 酸性度ph6.5

06/07 堆肥、化成肥料

植付(F-4区画)

07/01 種蒔

07/11 発芽

08/11 間引き

09/04 プランターに移植

10/07 (C3区画)に移植

10/18 発育不良のため撤去

(プランター)

09/08 種蒔

09/17 発芽

11/10 発泡スチロールに移植